

医療費無料化、就学前までは 今年1年、状況を見たなかで判断

市村千恵子 議員



問 乳幼児医療費無料化の年齢引き上げは、子育て支援の柱のひとつになっている。5才まで1才引き上げになった時、大きな反響があった。町もこの事業が子育て支援に効果があることは十分承知し、「段階的に年齢引き上げの方向で検討する」と前回の質問で担当課長が答弁している。就学前までの無料を実施すべきだと思ふ。試算も含め、町の考えを問う。

町民課長 1才引き上げにより、医療費は入院を含めると283万円、通院は200万円前後である。今回の専決補正で約400万円ほど減額してある。16年度の乳幼児医療費は、1才上がったが、病気が少なかったせい以前年度とほぼ同額であった。

町長 就学前の子どもがいる家庭は、どちらかというと若く、所得も低い世代である。核家族で生活も厳しく、子育てへの支出も大きく、家計費に占める割合も大きいと考えている。そうしたもろもろのことを考え今年1年、状況を見た中で判断していく。



第4次長期振興計画は 12月議会に提出する予定

柳澤 嘉勝 議員



問 平成18年度から実施される第4次長期振興計画は、自立した御代田町のまちづくりの根幹となる計画である。

現在、鋭意計画策定中と思われるが、自立決定後初めて策定する長期振興計画こそ、今かかえる町の課題を分析の上、全町民が夢と希望がもてる計画を願う期待している。計画の骨子と重点政策を問う。



企画課長 庁内に長期振興計画策定委員会を設置し、生活環境・福祉保健・教育文化・産業振興・行政運営の5つの部会で検討する。7月中に素案を策定、9月末までに全体会議、11月に審議会に諮り12月議会に提出する予定で進めている。

町長 財政基盤が確立しなければ机上のプランになってしまうため、まず第3次計画の検証をしっかりと行い、町の課題を洗い出した上、第4次の計画に反映させてゆく。

廃棄物対策 特別委員会

5月31日特別委員会を開催した。

町からの説明では苗畑跡地の有効活用が町の発展にとって重要な課題であり、町民の利益に結びつくエコステーション計画をすすめている。

現在、小諸市、軽井沢町と共同事業を進めており、5月から環境アセスの調査を開始した。

大気汚染、騒音・水質・土壌の影響など、ほぼ1年かけ、安全・安心・安定の要素を完全に満たしているこ

とを確認するための調査である。したがって、施設の規模や処理方式(機種)は現在白紙であり、今後専門委員会で調査、研究を重ねたうえ、住民の皆さんが納得できる施設選択を行なっていく計画であるとの説明であった。

特別委員会としては、基本計画や、調査結果など徹底した情報公開を行ない、住民の皆さんに理解いただける配慮を要請した。

エコステーションの整備計画が、町民の健康増進や町の活性化にとって有益な施設になるよう特別委員会として十分に調査研究していきたいと考えている。

委員長 重田 惇

実現させよう！軽井沢ナンバー

●軽井沢330●
か20-05

軽井沢ナンバー導入促進期成
同盟総会開催される
6月17日

昨年度は、署名活動を行うとともに、国土交通省をはじめ関係機関に陳情活動を行なった。

今後は、基準台数10万を確保するため、隣接市町村に働きかけを行ない、佐久地方全体に広めていくこととしました。

農業委員の推薦と 配水地契約を可決

平成17年第1回町議会臨時会が、7月12日開催され、議案2件を審議した。

農業委員会委員の議会推薦委員として、次の4名を推薦した。

推薦者名
桜井律子 荒町
土屋虎夫 草越
高橋 浩 西軽井沢
内堀恵人 議会

御代田簡水第2配水池築造工事請負契約については1千トンの配水池を設置し安定供給を図るもので、指名競争入札により、(株)安部工業所長野営業所と1億2千705万円で契約するものであり、原案どおり可決した。



環境アセスメント